

Minami Kyushu University Syllabus					
シラバス年度	2011	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	自然緑地計画論演習 [Natural Open Space Planning Practice]				
科目コード	710041	単位数	4	配当学年	2年次
教員氏名	平岡 直樹				
授業概要	造園家として、ランドスケープや環境の専門技術者として、自然緑地を扱う上で必要な技術や知識に関して演習を通して学ぶ。自然公園など広域を対象とした図面、縮尺の小さな地図を読み取る技術の修得や表現方法を身に付ける。さらには、設計事務所やコンサルタント業務の実情の把握なども同時に行う。				
授業計画	第1回 演習の進め方 第2回 演習内容の紹介 参考文献紹介 第3回 自然系緑地の領域 地形図から領域を考察する 第4回 自然系緑地の領域 地形図上で検討する 第5回 空間特性(立地条件)から見た自然系緑地の分類 第6回 空間特性(立地条件)地形図から分類を試みる 第7回 自然緑地見学会 近隣の自然緑地の見学会 第8回 自然緑地見学会 近隣の自然緑地の見学会・意見交換 第9回 地形図の読み取り演習 説明 第10回 地形図の読み取り演習 第11回 自然緑地の調査方法の演習 概要 第12回 自然緑地の調査方法の演習 自然特性調査 第13回 自然緑地の調査方法の演習 植生調査 第14回 自然緑地の調査方法の演習 社会特性調査 第15回 自然緑地の調査方法の演習 人文特性調査 第16回 自然緑地の調査方法の演習 景観特性調査 第17回 森林と景観① 調査方法の概要 第18回 森林と景観② 調査 第19回 森林と景観③ 調査の取りまとめ 第20回 森林と景観④ 調査方法の総括 第21回 農村、里山と景観 農村 調査方法の概要 第22回 農村、里山と景観 農村 調査方法の演習 第23回 水辺と景観 調査方法の概要 第24回 水辺と景観 調査方法の演習 第25回 水辺と景観 生き物と景観 調査方法の概要 第26回 水辺と景観 生き物と景観 調査方法の演習 第27回 プレゼンテーションの技術 第28回 プレゼンテーションの準備 第29回 プレゼンテーション 第30回 講評				
授業の到達目標	自然緑地が、自然環境や社会にどんな役割を果たし、どんな問題点を抱えているかを考える力を身につけ、さらにそれぞれが自らの自然観もより豊かにして行く。				
評価方法	演習の課題で評価。授業出席日数の必要最低限度に準じて、3分の2以上の課題の指定する期限内の提出が不可欠。				
テキスト	森山、平岡他『ランドスケープアーキテクチャーの起点』ぎょうせい、2007 他				
参考書	①環境省編『平成16年度環境白書 地域社会から始まる持続可能な社会への変革』ぎょうせい、2005 ②石川徹也『日本の自然保護 尾瀬から白保、そして21世紀へ』(平凡社新書)平凡社、2001				
備考					